

南小たば風通信 2018

平成31年3月 7日(木) 第37号

研究の反省と次年度の方角性について

先日は、次年度に向けてのご意見ありがとうございました。話し合われたことをまとめ、次年度の方角性について研究部で方角性を考えましたのでご確認よろしくお願ひします。

《グループ討議》**低学年**

- ・国語の授業の進め方については、この一年間の取り組みでだいたいつかめた。算数の「OKJ」については、あまりわからないので教えてほしい。
- ・「OKJ」の基本の形をもとにして、自分たちのやりやすいスタイルを作っていければいい。
- ・公開研にあたらぬ授業研究については、基本は全員が観に行く。事前研・事後研は行わず、授業の感想や改善点について用紙に書いてもらったものをまとめて次の授業につなげていけるようにするとよい。
- ・指導案検討(板書交流)は、今年度のかたちでよい。

中学年

- ・国語の研究を継続。
- ・低・中・高に分けると、ブロックの人数が少ないこと(初任者も多いので)が心配。
⇒低と高に分けて、2本ずつではどうか。

高学年

- ・説明したり、まとめたりする力が弱い。
- ・読み取る力の不足を感じる。
⇒文章全体をとらえる。目的に沿って読む。
- ・より読書量を増やす工夫が必要。
- ・教科にしぼらずやっっていくことも考えられる。

**《教頭先生・校長先生より》**

- ・学力を身につけること、安定させることが大切。
- ・研究は、みんなで課題をもってやっっていく。
- ・学習評価・・・大事!
- ・CRTは、「できた」「できない」ではなく「どうしていく」ということが大切。
- ・自分たちが向かうベクトル(仮説)をしっかりと進めてほしい。
- ・公開研以外の授業研究は、板書計画がわかればA4のもので十分。
- ・指で覚える!書くことも大切。
- ・「OKJ」は、南小の財産・・・継承してほしい。



☆次年度に向けて☆

(1)研究の内容…国語

- つけたい力を明確にした授業づくりについては継続でいいのでは？
- 分野については、新年度確認！

※「OKJ」については、グランドデザインの中にも重視されています。そこで、学習力向上部で研修を進めてもらうことを提案します。(今までの研究の成果が残っていますので、それを活用して資料を用意したり、新しく来られた先生や勉強したい！という先生方が、OKJの授業をしている様子を参観できるような時間を設定したり・・・お願いできればと思っています。)

(2)公開研究会・授業研究について

- 公開研究会は9月6日(金)を予定(低・中・高のうち2ブロックが公開する。)
 - 9月の公開研究会で当たらないブロック
⇒11月に予定している指導主事訪問に公開授業をする。
 - 5月に理論研修⇒6月に研究部提案授業
 - 公開研の前に可能ならば、外部講師(指導主事)からのアドバイス(7月)
 - ブロックでの指導案検討(2週間前)板書交流(1週間前)
- ※板書交流については、授業の流れを確認する場とする。

(3)ゆとりをもたせるために…

- 低・中・高ブロックに分けて、公開研に2つのブロックから授業公開。当たらなかったブロックが、指導主事訪問で授業公開。他の学年は、A4 1枚程度の指導案で授業公開とする。
- 初任者の先生方は、いる間に最低2回は授業公開に当たるようにする。(次の学校へ行ったときに、南小で指導案書いたことがなくて・・・とならないように！)
- 初任1年目の先生は、初任者研修の一環として年間のどこかで(今回の庄山先生のように)授業をする。

(4)その他

- 研究会への参加・・・「国語研究校」はもちろんのこと「OKJ研究校」へもいくつか参加できるよう調整していく。

※ゆとりをもたせるために研究日を減らしてあります。「OKJ」については、学習力向上部と連携して進めていけるとよいと考えています。

